

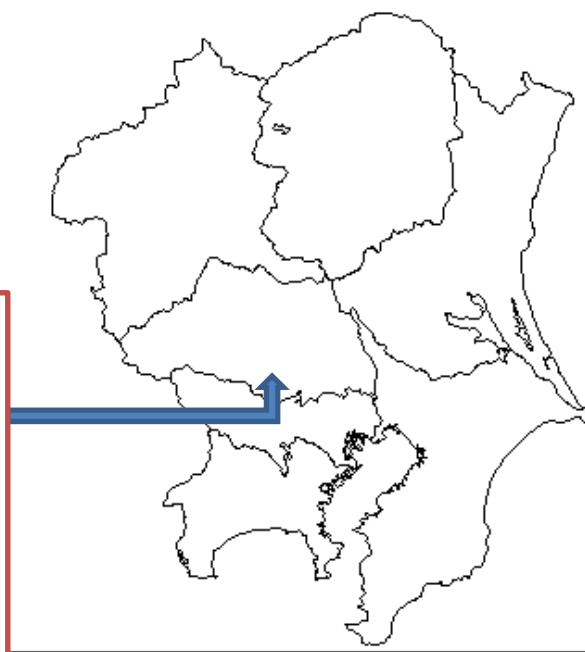
# 青少年多文化学びサポート (Educational Support for Multinational Youth=ESMY)

埼玉県所沢市

人口約34万人

\* 池袋より西武池袋  
線で約25分に立地

\* 面積が広いため、  
子どもだけでの移動  
が難しい地域あり。



# 外国人に関する 埼玉県所沢市の特徴（歴史・施設）

- ☆日本の航空発祥の地；フランスのアンリファルマン機の飛行、フランス人技術者家族の滞在（明治時代）
- ☆戦後の占領期は米軍基地となる。
- ☆2016年3月まで、中国帰国者定着促進センターがあり、多くの帰国者がここで、最初の日本語・日本の生活・習慣を身につけて、全国に散って行った。  
樺太残留家族も滞在。ロシア関係日本人が多い。
- ☆市内・近隣に国際的な教育機関・宗教施設あり；  
カナダ公認国際学校、モスク、CAJ（東久留米）
- ☆市内に多いカレー屋・中華料理店（名称は台湾、店主は中国人）
- ☆「ととろのふるさと」宮崎アニメの原点

# 外国人に関する 埼玉県所沢市の特徴(人口統計)

- ☆外国人の人口比率 1.34% < 日本の平均 2016.7月末現在
- ☆国籍別多い順

中国・台湾	1,766	特別永住者を含む
韓国・朝鮮	712	特別永住者を含む
フィリピン	553	国際結婚者。子どもは日本国籍。
ベトナム	360	企業の研修生。独身者ほとんど。
ブラジル	181	日系人(ほかに、ペルー45/ アルゼンチン 12など)
- ☆カレー店の経営者・従業員はネパール144パキスタン108/スリランカ23
- ☆日本政府や日本企業との関係が深い国からの住民が増えている。  
タイ70/インドネシア44/インド32/モンゴル23/ミャンマー19/  
バングラデシュ17 など
- ☆最近目立つアフリカ系の人々(治安悪化から逃れて)  
ナイジェリア36(うち永住者24)/ガーナ18(うち永住者11)/  
カメルーン9/コンゴ民主共和国6など。
- ☆16才以下 397名(小中高校生 6才~18才 人数は不明)  
日本語学習の必要な子どもは、日本籍の子どもも(帰国子女・帰化者)

# 青少年の日本語教育に関する 埼玉県所沢市の特徴

☆小中学校での日本語学習支援（2015年度実績）（小学校32・中学校15）

所沢市教育センターからの講師派遣

対象；小中校生 44名

時間数 744時間→一人あたり 17時間 1回/週～月

母語話者講師6名（入門・初期指導）

需要の高い母語は1名あたり回数減

日本語指導ボランティア講師（教科学習指導も含む）2名

ESMYよりの学習支援者派遣 対象；小学校2校（各2名）

チームによる支援/週2～週1 / +ESMY教室（週2～週4）

☆市内・近隣定時制高校での支援（県教委より派遣ほか）所沢・狭山・川越

☆日本語ボランティア団体 6（うち大人向け5）

最初の団体の設立 1988年

この頃、全国各地に日本語ボランティア団体が設立される。

☆大人向け日本語ボランティア団体での青少年の受け入れ 2006～2012

この間、文化庁の委託を受け、人材育成等行い、

2012年、青少年多文化学びサポートを設立。現在、会員数35名。

# ESMYの活動概要(学習・教科支援)

年間、約30名の青少年学習支援(日本語初歩～教科学習) / 希望により、保護者の日本語学習支援も(年間4名ほど)

☆平日 学校への派遣(2012～2015年度 ; 1、2校/年)

☆放課後教室(各教室で義務教育以降の青少年受け入れ)

月(15:30～17:00); 所沢市社会福祉協議会/

生涯学習推進センター(9月より)

火(17:30～19:30); 新所沢公民館

水・木(同上); 狭山ヶ丘コミュニティセンター

日中の教室開設(対象; 既卒青少年、不登校児童生徒など/要請により) 例; 既卒者の高校受験支援/視野狭窄青年の支援

☆土(10:00～12:00) | CN日本語ラウンジ; 新所沢公民館

☆中3生特別支援/

長期休暇期間中 教室



# ESMYの活動概要（その他）

☆日本語の実践と地域への広報；公民館文化祭など市内のイベント参加／所沢こどもルネサンス活動参加

☆高校進学ガイダンス協力



☆支援者の情報交換会（1ヶ月に1回）／研修会（主催；社会教育課／ESMY）



☆運営のための財政基盤（年会費千円／助成金／寄付）

# 小中学生への支援活動から若者への支援へつなげること（1）

## ☆高校進学後もつながりを持つことへの模索

事例1 最初の青少年受け入れ；中国大連からの中卒者  
9月に来日・翌年の高校受験  
高校在学中に日本能力試験2級取得。  
コンピュータ系専門学校への進学を希望。  
その後の状況は不明。

事例2 中国大連から、中学3年時に来日、翌年、高校受験。  
親の転職により、関西方面へ転居、その後の状況不明。

事例3 フィリピンから、中卒で来日、翌年、高校受験。  
カタカナまでの学習支援で進学したため、学科学習について行けず、退学。その年の学園祭には来校。その後は不明。

# 小中学生への支援活動から若者への支援へつなげること（2）

事例4 フィリピン出身；姉は中卒で、弟は中3で来日。

姉は通信制高校、弟は定時制高校へ進学。弟は卒業後、就職。

姉は在学中に介護ヘルパー2級の資格取得。施設に就職。正職員となり、学校は退学。その後、結婚し、他市へ転居。出産で里帰り中に再会。



# 小中学生への支援活動から若者への 支援へつなげること (3)

## 事例5 小2でフィリピンより来日。

市内中学校から隣の市へ転居、転校。その後、フィリピンへ戻り、再来日。義務教育年齢を過ぎていたため、都内の夜間中学で中卒資格を取り、20才で定時制高校に進学、現在に至る。

フレンドリーな性格で、現在は、日本語支援の学習支援員の通訳や他の生徒との調整役をしている。

事例6 小6で中国・沈陽より来日。中学進学時に親の店舗移転のため、東京都に転居。高1で店が所沢に戻り、高校進学ガイダンスで体験発表。

# 将来の自立に向けた支援

1. 自信を持つために ➡ 社会の役に立つという経験  
「所沢こどもルネサンス」のさまざまな表現活動に参加

小学生；活動参加

中学生以上；ボランティアのすすめ



**これまでの参加事例：**

**音楽祭・まんがイラスト作品展受付**

**トコトタウンサポーター**

2. 高校進学後の支援継続 ← 教室に来る

退学・編入学・将来の進路相談

大学のガイダンスに同行・学習支援



# 自立に向けて;にほんご+

- ☆一人一人に寄り添う支援
- ☆義務教育後も続ける支援
- ☆保護者との連携

- 日本語；日本語能力試験受験のすすめN1～N4 ←  
自らの日本語能力を証明する。
- 漢字；一番のネック（非漢字圏の青少年）
- インターナショナルなことへの自信 ← 母語検定資格（中国語検定、ハングル検定、フランス語検定など）取得のすすめ
- 得意分野発見 ← 教科学習支援・毎回の支援の際のコミュニケーション

ご静聴ありがとうございました。

発表者 ESMY 代表 持丸邦子  
城西大学 経営学部 非常勤講師  
専門；国際ビジネス経営／人材育成